

平成 24 年 1 月 24 日
原子力安全委員会事務局

モニタリング活動に関する評価について

1. 原子力安全委員会は、平成 23 年 7 月 21 日の「今後の放射線モニタリングに関する基本的考え方について」において検出下限値の適切な設定などについて考え方をとりまとめ公表した。現在、一部の測定値において検出下限値が下げられ有用なデータとして公表されているところである。また、平成 24 年 1 月 16 日の「今後の放射線モニタリングの在り方について」において、改善すべき点を含め、今後重視すべき点を中心に放射線モニタリングの在り方を取りまとめたところである。
2. また、事故当初においては、文部科学省が取りまとめた測定結果をもとに日々評価を行ってきた他、4 月 25 日からは、政府・東京電力統合対策室合同記者会見において評価結果を公表してきたところである。なお、政府・東京電力統合対策室合同記者会見終了後については、原則として週 1 回程度の頻度で評価結果をホームページに公表している。
(http://www.nsc.go.jp/nsc_mnt/index.htm)
3. 最近のモニタリング結果においては、半減期の短い放射性ヨウ素の影響は見られず、半減期の長い放射性セシウムによる影響が主であり測定結果に大きな変化は見られない状況にあるものの一部の測定値において、最近の変動範囲を上回る値が測定されることもあることから、モニタリングを実施している機関においては、その原因について調査するとともに対策をとることも大切と考えている。